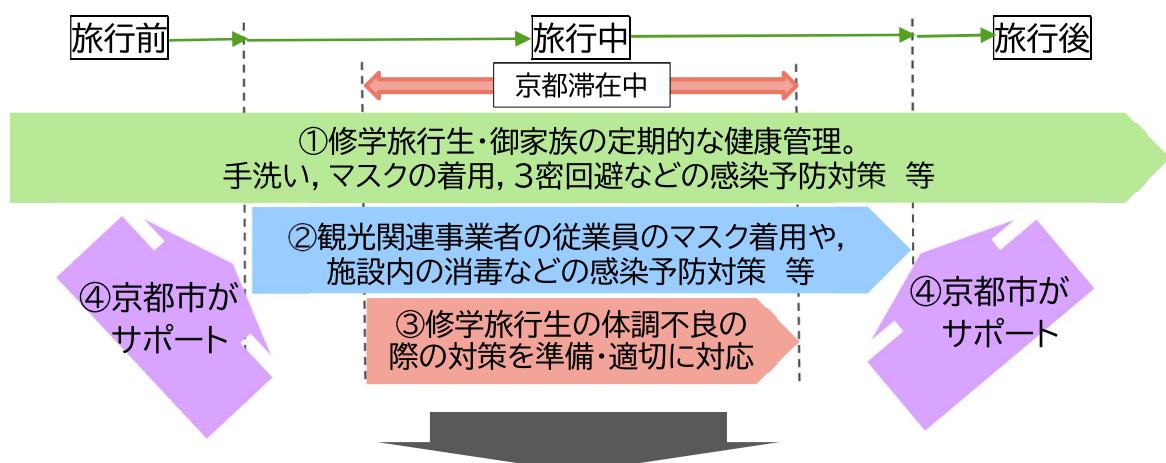


3 ウィズコロナ社会における新しい修学旅行「京都スタイル」について

京都を訪れる「修学旅行生」と お迎えする「京都市民」の 双方の安心・安全を守るのが、新しい修学旅行の「京都スタイル」

修学旅行生・保護者・学校関係者のみなさん、修学旅行生を京都でお迎えする観光関連事業者、そして京都市がしっかりと協力し合い、旅行前から旅行中、旅行後に至るまでの、切れ目ない感染予防対策を実践する。

これが修学旅行生と京都市民の双方の安心・安全を守る「京都スタイル」の基本です。



「修学旅行生」と「京都市民」の双方の安心・安全の確保

新型コロナウイルスは、感染から発症までの潜伏期間が5~6日とされています。このため、

- ① 修学旅行生・保護者・学校関係者のみなさんも、「新型コロナウイルスを持ち込まない」との認識で、旅行前、中、後の定期的な健康管理、十分な感染予防対策を行っていただく。

また、修学旅行の特徴(※)に配慮し、

- ② 観光関連事業者のみなさんは、業種ごとに策定された、新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドラインに基づき、感染予防対策を徹底する。
- ③ 関係者が協力し合い、京都滞在中の修学旅行生の体調不良の際の対策を予め準備しておき、適切に対応する。
- ④ 京都市は、修学旅行生・保護者・学校関係者のみなさん、観光関連事業者のみなさんをサポートする。

※ 修学旅行の特徴



大切なお子さんだからこそ、保護者や学校関係者のみなさまにとって、修学旅行に行かせてあげたいと思う反面、京都滞在中の感染疑いの発生や感染リスクの可能性に対する不安を感じになられるのは当然のことであり、できる限りのサポートに努めます。